

話題提供

「死に向き合う人に係わり合う者の心構えと想いの受けとめ方」

阿部幸泰

(HP : <http://www.h4.dion.ne.jp/~dekunobo/>)

I : 事例

筋ジストロフィー、重症心身障害児の事例

ガンの方の事例

「友の身をもつての教えに、感謝」

<http://dekunobo-abe.web.infoseek.co.jp/batuku/mori.pdf>

「あるご家族の日頃の心情に、『命の輝き』をかいま見る思いがする」

<http://dekunobo-abe.web.infoseek.co.jp/toukoumotodate.pdf>

II : 事例等から学んできたこと

- ①「人」とは、死の間際までどう生きるかを模索し続ける存在。
- ②「生きる喜び」： イ) 人と係わり合う喜び。 ロ) 知らないことを知る喜び。
- ③「生きる営み」： あえて比べず、生きようとする生命が互いに係わり合い助け合いながら、生きるとはどういうことかを自らに問い続ける活動。
- ④「生きる（生活する）」→「人間関係」→「コミュニケーション（想いの伝え合い）」  
「質問上手はコミュニケーション上手」

<http://dekunobo-abe.web.infoseek.co.jp/batuku/21-kouki/situmon-jyouzu.pdf>

「家族と係わり合う折に留意していること」

<http://dekunobo-abe.web.infoseek.co.jp/batuku/19-kouki/kazoku-sien-ryuiten.pdf>

- ⑤「人間相手（支援、教育、育児、保育、療育、等々）の仕事には、マニュアルもゴールはない。

係わるだけでなく、係わり合い続けること（**Not doing, But being.**）。

知識と技術に裏打ちされた知恵をいかに働かせるかのチャレンジ精神と、自らを検証する勇気が必要。」

III : 懇談（質疑）